

経営体の概要

- ・所在地：青森県三沢市
- ・経営体名：農事組合法人フラップあぐり北三沢
- ・栽培作物・作付面積：飼料用米 98ha、主食用米12ha、ほかデントコーンなど8ha
- ・従業員数：6名（令和6年3月現在）

導入技術

- ・ほ場水管理システムWATARAS（（株）クボタ製、以下WATARASと記載）による水管理の自動化

水田の水口と水尻に設置し、水位をスマートフォンやパソコンでモニタリングしながら、給・排水の遠隔操作や自動制御できるシステム



図1 設置されたWATARAS

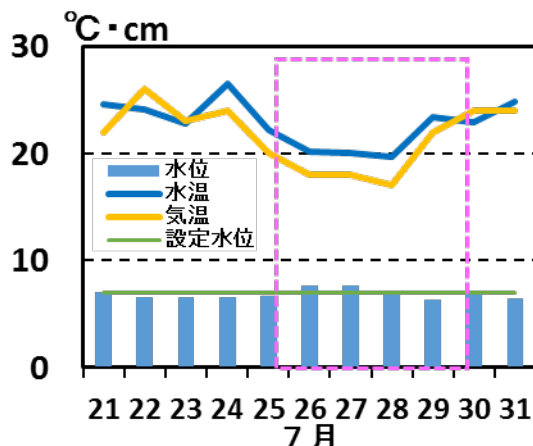


図2 WATARAS設置ほ場における水位と気温・水温（R2）

導入経緯

- 法人では、基盤整備事業で区画整理された約1haの水田約100筆を管理しており、作業の省力化が課題であった。
- そこで、水管理の省力化を目的に、「農業競争力強化農地整備事業」（H27～R1）を活用して約24haにWATARASを導入、R2年産から稼働開始した。

- WATARASを導入し、水管理の省力化に活用。
- これにより、個々のほ場を巡回することなく、スマートフォンやPCで各ほ場の水位を把握し、調整することが可能となった。
 - ・ 水管理（移動、水口栓の操作等）時間を削減（30分/ha → 5分/ha）
- 問題点
 - ・ 生育初期にきめ細かく水位を設定すると水口の開閉が繰り返され、動力バッテリーの消耗が激しく、交換が必要である。
 - ・ 小さな残さの詰まりにも反応し、エラー表示が頻発する。
 - ・ 水位センサーの設置が難しく、ほ場ごとの設定が異なるため、全ほ場の給排水を一元管理できない。
- 今後は、問題点を解決しながら活用していきたい。